

大津町議会 議会改革推進特別委員会行政調査報告

氏名 西川 秀貢

視察研修名：大津町議会改革推進特別委員会行政視察

研 修 先：①福岡県 志免町

②福岡県 粕屋町

期 日：令和7年11月20日（木）～21日（金）

研修テーマ：①議会活性化の取り組みについて

②議会活性化の取り組みについて

研修報告 意見・感想

議会活性化の取り組みについて、議会基本条例制定の制定経緯や現在の取り組みについて視察を行なった。志免町では、2010年に最終案を作成、決定するまでの間、町民や各種団体と何度も、意見交換や、ワークショップなどを重ねてきた。この取り組みにおいて、13名の議員が一丸となって進めていく姿に大きな感銘をうけた。議会基本条例の制定において、最も重要とされる議員同志の団結や町民との連携を、自然体で実現しているように感じた。また、議会改革の取り組みとしたは、議員の資質向上、開かれた議会の実現、ICT化の推進など、しっかりと学びを深めており、町長への政策提言も、根拠に基づいた内容で、大変印象的であった。特に政党や立場を超えて13名全員が町民とともに、条例制定に取り組んだ姿勢は、まさに議会のあるべき姿を体現しているように感じた。

一方、粕屋町は、JRの駅が6つあり、福岡空港まで約15分、博多港までも約20分と、福岡市とのアクセスが非常にお良好な立地である。人口も年々増えており、発展が期待される地域である。議会の取り組みとしては、令和4年12月から議会基本条例の検証、見直しを開始し、令和6年3月には12年ぶりに改正が行なわれた。その後令和7年8月からは研修会等を実施し、まずは、議員全員で「ものさし合わせ」を行なう事からスタートしたとの事である。志免町と粕屋町、どちらの議会でも、議員一人一人を尊重しながら、同じ方向に向かって進んでいる姿が印象的だった。こうした団結は簡単ではないので、両町の取り組みから多くの学びがあった。特に関心のあった反問権については、両議会の話を聞く中で、捉え方の違いがある事が分かった。一概に結論をだすのは難しいので、それぞれの議会の考え方や運用の仕方を知ることができたのは、貴重な経験であった。今回の視察を通じて得た知見を活かし、今後は本町における議会活性化や条例制定に向けて、より一層尽力していきたい。